

刊夕 日四廿月五



定額 一部金五銭 二部金五銭 郵税五銭
廣告料 五銭 十二部 一行金五銭
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常務 警日新新聞社
印刷所 常務 警日新新聞社

患者心理 (二)

OK 生

お医者さんにかゝり方といふと、お医者さんは直に肯くが、素人の人は變に思ふ。上手の人は得をするが下手な人は損をするのであるから、注意を喚び起して置く必要はある。如何な損か？ お医者さんの診療の熱心さが減る、と私は答へる。

お医者さんにかゝり方はお医者さんからは少々言ひ兼ねる節がある筈、私の様な、醫者の様な醫者でない様な者が、即ち之れを説くべき適任者ならう、と思ふ。
お医者さんも亦た是れ感情の持主である。醫學に立脚して社會に奉仕して居るお医者さんである。同時に亦た之れに依つて若干の富を獲むとする營業者でもある。良い氣分で社會奉仕の能率を擧げて且つ金を儲けたい、とお医者さんは希望してゐる。此の氣持にビタリとはまつて行くのがお医者さんにかゝり方の上手であつて、そうでないのが下手といふ可きである。要するに下手となる可き事柄から蟬脱して行けば、自然に上手になつて行く譯である。

例へば咳が出て軽い熱がある、といふ様な事でお医者さんを訪れた場合、お医者さんから「何處かお悪いですか」と訊かれて、「氣管支加答兒でして……」と云ふが如きは下手の部類とお医者さんは腹の中で、診斷がついてゐる位なら來ななくてもよいではないか、と思ふ。所謂主訴を聞かうとする間であるから、「熱があつて咳が出ます」と答へるべきである。

くどく澤山喋舌べるのは大下手の部類である。患者のお喋舌に大體二種類あるが、第一はお医者さんの機嫌を悪くし、第二はお医者さんを困らせる。而して何れもお医者さんの診療の熱心さを殺ぐ。第一の例へば、自分の關係あるお歴々のお医者さん若しくは大家を編み込んで長々と痛みの経過を述べ立てるが如きである。何々會社の某重役が自分の娘——の叔父に當るので、その紹介で遠縁にも當りもする帝大の何某教授に診て貰つたのが一年前その後、其の教授と心易くなつて度々宅へも見えるやうになつて、——その教授は酒が好きで基が可なり上手で、——何時も容態だけ述べて薬を貰つて服んで居つたのだが、數日前に何處

其處の地方講演に出かけられ留守であるのでみて貰ひに來た、——これではお医者さんはすつかり氣を悪くしてしまふ。第二の例へば要点的陳述までいららぬ廻り道をするが如きである何番目の息子が近頃嫁を貰つて居るが、良い嫁であるので自然出這りに遠慮が入らぬので、一週間に一べん位行つて泊つて來る、一昨日も行つて泊つて行けといふて呉れたが昨日市内の親戚に法事があることになつて居たので、遅くはなつたが歸つて來た。



宵の路

文朗作

思ひ出の此の路を
愁しざよとぼくと、
君を思へば
君が面影月に映りて
うらさびしはるかななる
宵の路
今いずこ君の面影
星も泣く、
淋しさの孤影よ

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
平町田町
電話五八番

34年型新車購入

かすめて顔を海邊に遠乗り愛
微風が野邊に。海邊に。遠乗り愛
吹く……野邊に。海邊に。遠乗り愛
アタタのリーベとの遠乗り愛
散策に一御私用に是非御愛
乗下さい。
セリザワのニュー・カーを！

平・三 芹澤タクシー 電 395

大野寫眞館

電話五四五番へ御願いたします
平町仲田町【電話五四五番】

電話新設 五四五番!!!

御寫眞は最迎著しい進歩いたしました
『最新の採光と自然の御姿勢を』
常に尊重して御寫し申上たいと存じます。
尚ほ出張撮影御急ぎの場合は是非……。

咽喉科専門

平町田町七〇番地
山内醫院
醫學士 山内亨吉
電話六九一

ゼアラの自轉車 代理店
宮田自轉車
平局御用 エビスヤ自轉自店
平南町 電話六六四番
宮田自轉車九半度郵便局納め
五千二百輛
小店員入用 貳 名(十五、四才)

夏の通學服

15日ヨリ

- ◇小學用霜降小倉服……………40ヨリ
- ◇" " " 上口……………85ヨリ
- ◇" " " 特製……………1.20ヨリ
- ◇中學用 "……………2.05ヨリ

第二・第三制服も二三日中に取揃ひます。

ふかや洋服店 平 三 電 203

魂の這入つた

フタバの自轉車で

フタバ式リヤカー發賣元

フタバ商會

平。新川町。月見橋際

電熱ほうじ茶發賣

- 一號 一斤六〇 四半斤一五
- 二號 一斤四〇 四半斤一〇

大勝園で買った茶は
お勝手道具は世帯王
大勝園の王よ客問王
茶問のの王よ客問王
父様母様おすきの茶
客のほめる茶喜ぶ茶

大勝園

平 三 電 三九六番

軍艦木曾の雄姿・小名濱に現る

久邇砲術長官を御迎へして 小名濱町民の感激

我等が「海の生命線」を護る軍艦「木曾」はいよいよ「けふ小名濱港外にその雄姿を現した——本年度艦上簡閲點呼のため來港する本會はけふ午後一時平瀉港を抜錨したが同三時過ぎ小名濱港に投錨した本會到着と同時に陸上には地元小名濱町で打揚る數十發の煙火と平瀉港周圍を埋むる萬餘の觀衆萬歳を唱へて歓迎した尙ほ畑山本縣知事、渡警察部長は久邇同艦砲術長官御歡迎並に御警衛の爲め小名濱に來町した

傳貧馬續々發生

眞症一疑似十四頭を發見
石城産馬組合で對策に腐心

石城郡産馬畜産組合では此程本年度第二回の馬匹檢診を執行したところ以外にも左記の如く入遠野村の七頭を筆頭に傳貧馬十五頭(眞症一、疑似十四頭)を發見したので大に驚き眞症に對しては殺處分の手續をとり疑似症に對しては放牧禁止の命令を發し傳染の経路を防いだが農繁期を控へて各農家では大狼狽を呈してゐる

青沼町長 けふ磐炭へ

磐城炭礦の平町地下採掘に對して平町では過般委員會を開き反對の答申を決議したが青沼平町長は本日の町會を控へてけふ午前磐炭礦務所に菅原所長を訪問し行

小麥增收の競技

出陳の成績概して良好
石城郡農會では目下管内各町村に對し縣の第二回小麥增收競技會の出陳方を要請

中であるが大體四十点位に上る見込で成績は一般に良好である

土地移動 事務研

平稅務署では來る廿六日午前八時より各町村の土地移動調査員九十餘名及び町村吏員を招集して事務の研究會を開くと

優勝は確實らし

湯本遠征の平第一選手
吉井一行、馬目久二、戸石雄二

既報平第一小學校では明廿五日湯本小學校に催される郡下小學兒童競技會の出場選手は豫てよりメンバーを作り放課後記録を取つて練習中で優勝確實と見られて居るが出場する選手左の如くである

警中の學級増加

教育部會から建議案

既報來月三日平第二小學校に開かれる本郡教育部會總會には同校より警中の學級増加に就いての建議案を提出する外同校の橋本訓導の日本畫教育上の研究發表あるが尙當日日講師東京市深川區大富小學校校長推名龍徳氏の演題は兒童保護の諸問題に就いてであると

學校衛生 第三校視察

郡下各小學校の本年度衛生視察研究會は十一月七日平第三小學校、八日錦小學校の二校に開かれるが協議事項

優勝組に見事な楯三基

磐女では過般の校内學年對抗庭球、バレー、バスケットの競技を今後毎月繼續し體育の獎勵を爲め次回から各級毎に三競技の綜合點數を取り最高點の級には優勝組に

勝楯を次回迄保持せしめべく豫てより優勝楯を依頼製作中であつたが本日銀製の見事な楯三基が出来たので次回からの競技會には生徒の猛烈な爭奪戰を演じ

小名濱の泥的 上遠

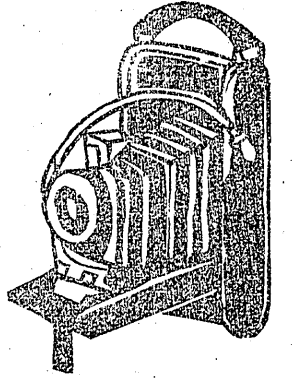
野村大字下平宮内忠七(三)は去る十七日午後十時頃小名濱町飲食店吉川屋に忍び入りセル單衣外數点價格十圓餘を窃取した事發覺行方捜査中であつたが此程平町を徘徊中捕へられ目下平署で餘罪取調中

常設館だより

●平館 日活時代劇犬塚稔監督、澤村國太郎主演
『淺太郎赤城風』日活現代劇、青山三郎監督、田村邦男主演『戀の長崎』大都時代劇中島實三監督、藤間林太郎主演『元和三勇士』
●世界館 松竹下加茂星哲六監督、尾上榮五郎主演
『捕物春雨傘』松竹蒲松重宗務監督、田中絹代主演
『結婚街道』阪妻プロ東隆史監督、阪東妻三郎主演
『燃える富士』完結篇

平職界紹介所報告

- 回人を求める方
△ 配達夫 十五才 尋卒 月五圓
- 湯屋釜炊 四十迄 月八圓位 外面談
- 給料面談
△ 鐵力職 四十迄 尋卒
- 十圓位
△ 農夫 廿才—五十才 月
- 外交員 二十才以上 高卒 歩合給
- 配達夫 十四、五才 尋卒 月五圓
- 回職を求める方
△ トラック助手 廿六才 高卒 給料面談
- 農夫 三十七才 尋卒 給料面談
- 給仕 十九才 高一修 給料面談
- トラック助手 二十六才 高卒
- 土工夫 四十四 二年修



MSカメラ

平驛前
いづみや玩具店
カメラ部

海軍機墜落

操縦増田大尉惨死 同乗の二將校重傷

けふ江名永崎の椿事

石城の海に空の犠牲

けふ午前十時頃小名濱測候所に對し海軍機江名海岸に墜落し危険に瀕す至急救援を請ふ旨のS.O.Sの救助信號が入電したので同所では直ちに江名町に報告同町青年團消防組その他總動員で搜索に手を盡した結果江名永崎十數メートルの海上に激浪に揉まれてゐる大破した機体の片影を發見塔乗者を救助に向つたが一名は即死、二名が瀕死の重傷を負つてゐるのを引上げ生存者に對し目下加療中であるが生命覺つかない

發動機の故障から

着水の際に海底に衝突か

惜まるゝ空の三銃士

別項—江名永崎に墜落した海軍機に就き平署では各方面に照會した結果同機は追濱飛行隊所屬E型三百六十三號戦闘機で増田大尉操縦し島田大尉、三浦特務中尉同乗して札幌に向つて八時同飛行場を出發したものであるが十時頃前記江名海岸上空を飛行中發動機に故障を生じたので低空飛行を行ひ着水せんとする際淺瀬のため海底に衝突したのもらしい尙即死したのは操縦者の増田大尉で重傷者は島田大尉、三浦特務中尉と判明した

海軍記念日

國旗を掲揚

平町では二十七日の海軍記念日に全町各戸に國旗を掲揚せよと

Zマークを

頒布する

平郷軍記念事業平町在郷軍人分會海軍班では二十七日の海軍記念日に際し會つて三十年の昔東郷司令長官が三笠艦上に皇國の興廢の各信號を高く掲げ皇軍大勝の因を作つたZ信號旗を像つたマークを各學生始め平町

平商 修學旅行通信

京都！京都！京都心は遠く京都の空へ、などと云つて時業を怠つては先生を困らした事も今は想像より現實に變轉し五吾々の眼前にそこが居るのであります吾々は豫定の行動をとつて廿二朝京都三條大橋附近にある大正館の二階に目をさました皆元氣一杯ですさて午前七時半に自動車にて京都帝大を初めとし石川五衛門の住居して居たと云ふ興味深い寺門、平安神宮知恩院、清水寺、豊國神社、桃山御陵、乃木神社、西本願寺、天満宮、金閣寺等と參拜見學し最後に京都御處を禮拜致しました、中にも吾々は豊國神社に於いて豊

明日の天気 西の風曇勝ち 今夜も明日も南

今晚の部

後六、〇〇(子供の時間) 名作物語「六人家來武勇傳」(東京放送童話研究会編)吉原鐵夫
後六、二五 公民常識講座
後七、三〇 講演「日本人の性格と其表面に就きての一考察」滿洲國立法院

長趙欣伯
後八、〇〇 チェロと管絃樂(桃谷演奏所より中繼)
後八、三〇 但馬茶摘唱(京都府久世郡宇治町)
後八、五〇 ラヂオドラマ「鯉のぼりメリケン風景」出演地座
後九、三〇 時報 ニュー！氣象通報 番組豫告

明日の天気 西の風曇勝ち 今夜も明日も南

明日の部

前六、三〇 基礎英語講座
二十一 岡倉由三郎
前七、二〇 聖典講義 玉置頼晃
前九、一〇 料理献立「藤の眞蒸あんかけ」石黒佐一郎
前一〇、三〇 家庭メモ(この頃の花と水揚法に就て)
前一〇、三五 主婦の講座「冷凍魚の話」水産試験所技師 木村金太郎
後〇、〇五 獨唱とピアノ 獨唱 金子彦太郎 ピアノ

由で不参加のは五名あり旅館は中禪寺の橋本屋に決定

平窪村の生徒が 害虫駆除に奉仕

平窪村小學校高等科兒童百餘名は去る二十日中村訓導指揮の下に同村大字中平窪大須賀榮一氏所有の梨畑約一町歩に箕虫、青虫等が猛烈に發生し全滅に瀕してゐるのを氣の毒に思ひ之れが驅除作業を奉仕したので大須賀氏は此程兒童に對し謝禮金を贈つた

太公望の喜ぶ計畫

愛釣家 に耳よ りなニ

ユース—松ヶ岡公園に游泳してゐる二、三尺大の鯉鯉は太公望連の野望？の的であつたが最近この鯉が早朝又は日暮時に密かに釣獲してゆく似而非？太公望が有り頼に名物の鯉が姿を消して來たのでこの儘放置するときは町の名物が絶滅すると心配した土木委員の有志昨日の委員会に池の鯉を拂下げて鯉釣り大會でも開いては……と名案を提議一同賛成して今日の町會で具體策を協議することになつたが公園の鯉釣り大會など一寸想像しただけで乙なものです

中川教頭出席 啓女

中川教務主任は來月七八の兩日若松高等女學校に催

悼亡友吉田安雄君

右は昨日掲載せし撰稿甚だしき爲め本日訂正の上左に再掲す

佛を偲びて寂し春の暮 春雨や手向くる花に一と雫 される縣下女子中等學校教務主任會議に出席する

平町青年團總集會

二十七日平第二校で

下中彌三郎氏の講演ある

平青年團では來る二十七日午後一時より第二小學校に於いて總集會を開催決算を付議役員の改選を行ひ次いで基本金造成に就き協議終つて平凡社々長下中彌三郎氏の講演ある筈因に下中氏は早くから左翼の大動園結に盡瘁した熱血の士で又著述家としても令名高く代表作に「維新を語る」があるが同氏を講師に招聘した委員の努力は各方面から感謝されてゐる

赤堀氏が歸郷 彫刻

赤堀氏が歸郷 彫刻

新立頭

(禁煙上級及上級)

田邊南龍(作)
山本英春(書)

四〇
やけになつた法華

『長まりました』
と奥の座敷へ来てお酒を一口呑み、御飯を食べて

『アー今日は善い事をした
平常人を切るなんて刀の柄へ手を掛けた事はなかつたが、然し血を見ないで鞘に納まつて目出度いそれに付いて阿父さんの記念に貰つた此刀、もしや、切り結んだ爲に刃でも溢れちあア居ないか』

とギラリと抜いて見て、打粉を打つて奉書で以て、刀巻元の所からつうと拭つた時

『どうも双答へが違ふハテナ』
と又三四遍拭つて見ると何うも自分の刀とは違ふ、ダン／＼調べて見ると真赤な偽物と云ふではないが同じ相州でも違つて居る

『ハテナ……』
是から鞘に納めて目釘を抜いて見ると、正安二年八日秋廣作としてある正宗の養子になつたのは彦四郎正宗、その次は九郎三郎秋廣『ハ、ア先刻土手で違つたんだ長兵衛に預けて田町へ行つて来た時、頻りに法華の兒分中が引戻して抜いたり箆めたりして見て居る所

へ乃公が歸つたもんだから栗喰つて間違へたのを箆めて知らずに乃公に返して仕舞つたんだらう、今江戸で一二を争ふ法華親分が、人の腰の物を悪い了簡で摺替なされたんぢやアねえヨシ

ものが心配をするから観音様へお詣りをして来るヨと長兵衛家を出て花川戸へ参りました、扱此方は山脇莊右衛門が仲裁で茶屋へ引、大勢でお酒を飲んで『何しろ法華、早速あの喧嘩を乃公に預けて呉れて千萬辱ないそれに付いて喧嘩の始まりは何うしたんだ好い年を爲て高窓花魁の事に就いてでもあるめへ』
『實は斯う／＼云ふ譯で決して女などの事ぢやアねえ』
『ウム好い喧嘩をした、和



く此りやア法華さんのとこへ行つて聞き合して来やうか』
自分に悪い了簡がないから、人もさうだらうと思つて、その腰の物を差して花川戸へ行くと云つては家の

郎の開運の時節出来とんだ好い喧嘩アしなされた、利口者だ長兵衛分らねへから『先生好い喧嘩をしますつた、利口者だと仰しやるのは何う言ふ譯でございます……』

莊右衛門は『長兵衛さん考へて見ねえ何時まで和郎博奕をして居たつて詮方のねえ話した、この喧嘩をして乃公と言ふものが一人中直りに這入つて、愈々仲直りとなりやア兄弟分の益をする、庭久しう水魚の交はりをしませうとなりやア、和郎の方が弟分になる、向ふの長兵衛さんが兄貴になる、さうすりやア六十餘州大名入れの元締をして居る長兵衛さんが弟を博ち打にしちやア置かねえ必ず五軒でも十軒でも十軒でも屋敷を貰つて其方も元締になれる、一軒屋敷を持つて居りやア小袖を着て妾を持つて旨え物も喰つて居られる位なもんだその樂な元締に貴様がなれるぞやアねえか、その屋敷商賣になりたないから其方も喧嘩をしたんだらう』
言はれて法華は心の内に思つた。

耳鼻咽喉科専門
大和田醫院
平町南一丁目七番
電話一〇七〇番

一冊の代金で御希望通りな五冊の雑誌が自由に讀める
川崎巡回文庫 電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

玉屋洋品店
平町田町通電話六五六番
店員募集
年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

磐城共済病院 (福島縣平町) (電話六四二番)

小兒科	院長 石山謙二郎 (電話六四二番)
婦人科	副院長 五十嵐雄二 (電話三七〇番)
外科	部長 齊藤七五三男 (電話二七二番)
耳鼻咽喉科	部長 前澤正
皮膚泌尿器科	部長 石山謙二郎
花柳病科	部長 石山謙二郎
X光線科	部長 石山謙二郎
衛生試験所	局長 石山謙二郎
藥局	局長 石山謙二郎
藥劑師	局長 石山謙二郎
事務局長	局長 石山謙二郎

● 毎日午前八時ヨリ午後十時迄診療
● 夜間診療開始(毎夜午後十時マデ)
● 病室完備 入院隨意

旭硝子株式會社製品
板ガラス
赤菱印
硝子壺
硝子食器
其他各種
松崎硝子製作所
平町新川町(電話一四二番)
支工場 仙臺市榮町(電五九七番)

夜間診療
松村村松 性胃病腸科専門
花柳病科
皮膚科
性病科